

SRS-019
SMART RIDE MONITOR
XR-2 <取扱説明書>

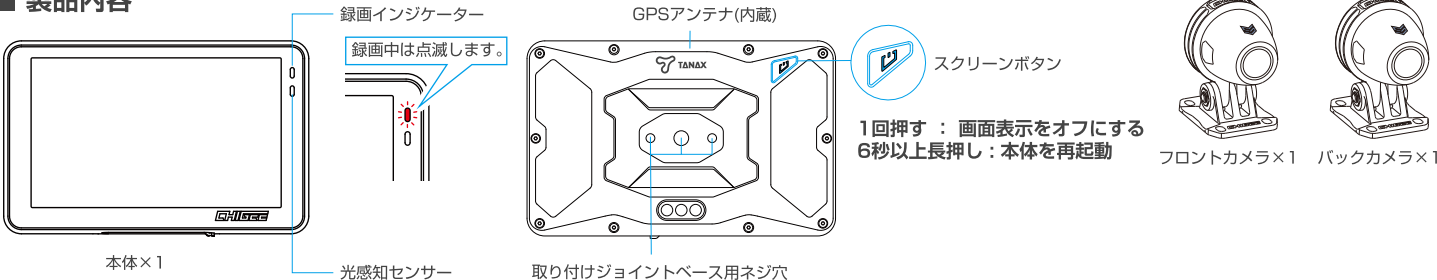
SRS-019 スマートライドモニター XR-2

■ 本書は紛失しないよう大切に保管してください。
■ 作業の際は純正サービスマニュアルを併せてご参照ください。
■ 本製品の取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。モニターやカメラの取り付けを伴う作業を行う際は、必ず車両販売店や特定認定工場など、確かな知識と技術を持ったメカニックが行ってください。弊社ではお取り付け等の対応は行っておりません。
■ 本書の表記内容（画面上のメニュー名表記など）はファームウェアのバージョンによって変更される場合がございます。

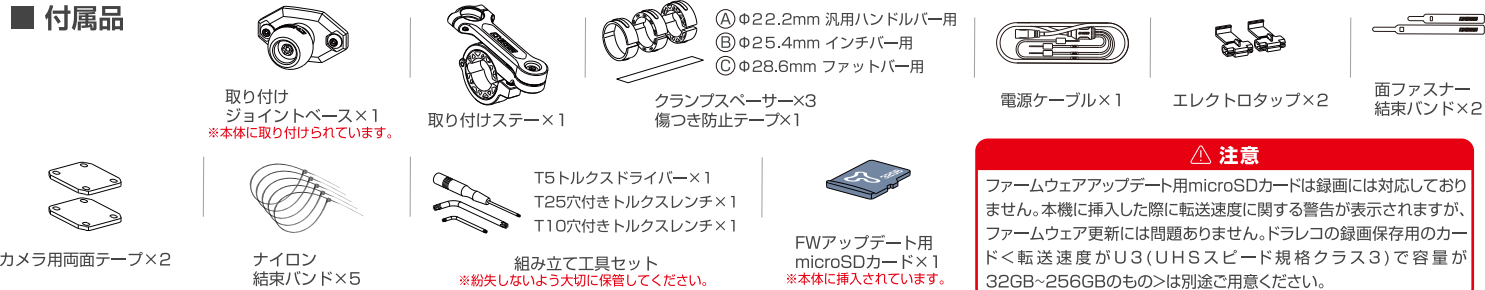
01 製品構成

本製品をご使用になる前に内容物が全て揃っているか確認してください。

製品内容



付属品

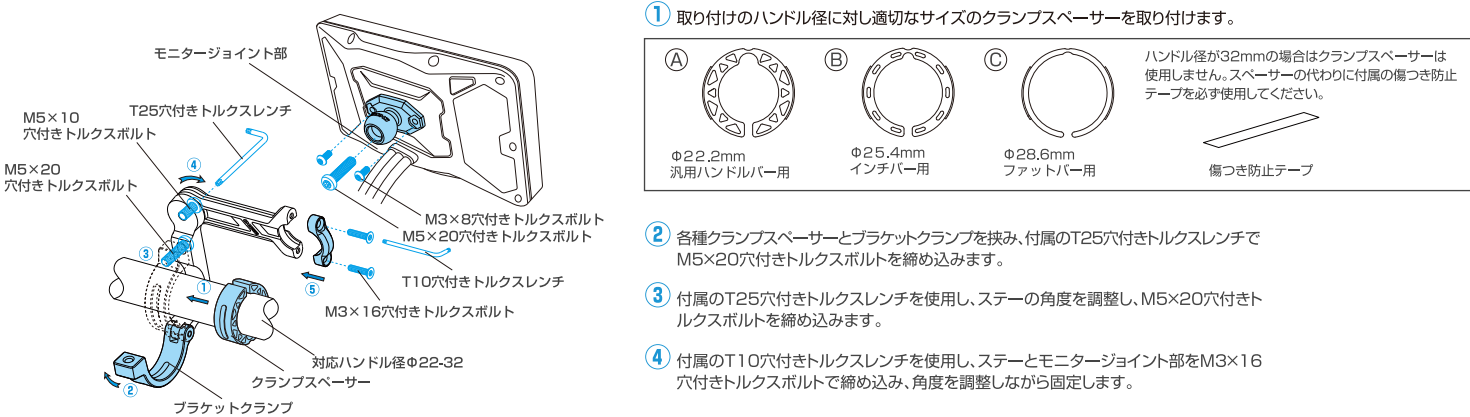


02 取り付けについて

本体とカメラ、GPS受信機、電源ケーブルを車体に取り付けます。

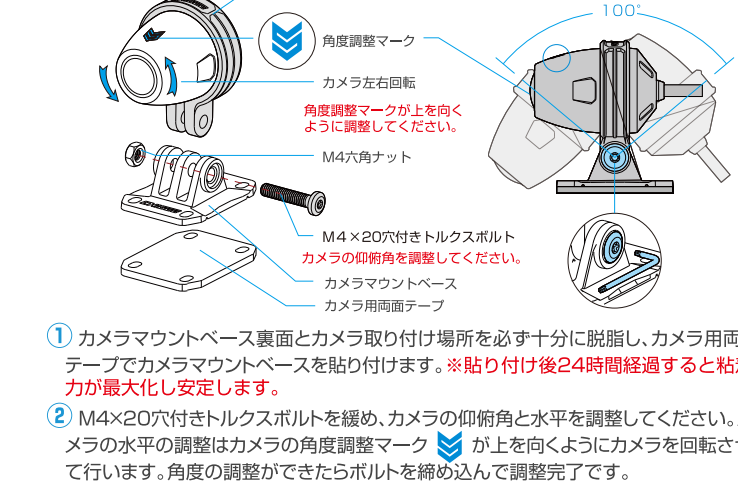
1. 本体の取り付け

本体を付属品の取り付けステーを使用して車体に取り付ける場合は、ハンドルバーに下記の手順で取り付けてください。



2. カメラの取り付け

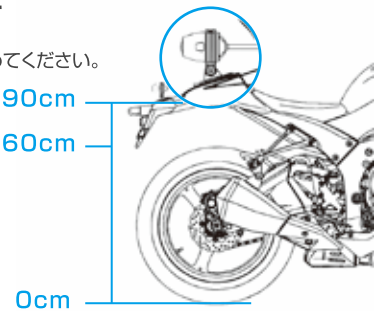
カメラは最適な取り付け位置を確認し、下記の手順で取り付けてください。



カメラ取り付け位置について

カメラの取り付け位置は下記の要領で決めてください。

- ・ 左右方向：フロントカメラ、バックカメラが共に車両の中心軸上にあること
- ・ 高さ方向：バックカメラはカメラマウントベースが、乗車していない状態で地面から60~90cmの高さに収まっていること

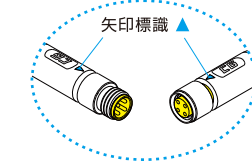


3. 配線

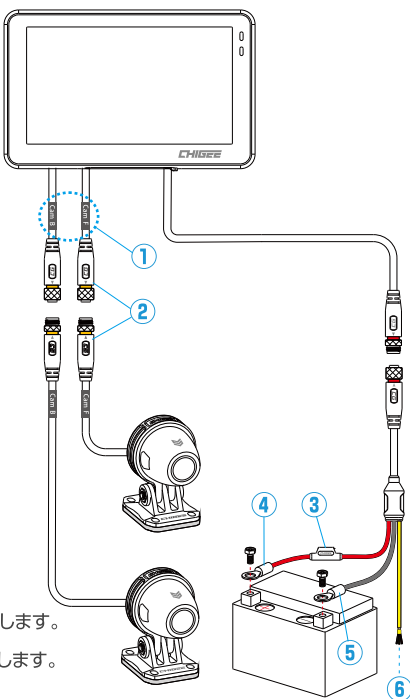
カメラは下記表示によって前後を判別してから接続します。

- Cam F フロントカメラ
- Cam B バックカメラ

接続する際は、同じ色のコネクタを合わせ、矢印標識に合わせて差し込み、ナットを締めてください。



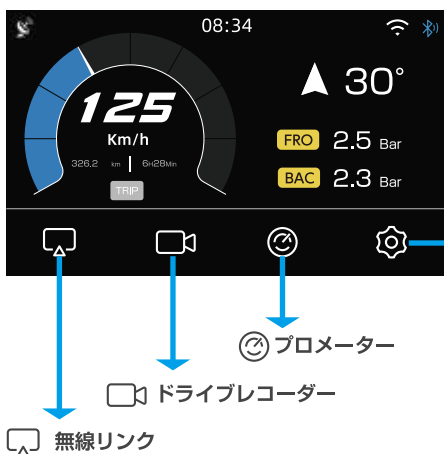
- ③ ヒューズボックス (3A)
- ④ 赤い線をバッテリーの+に接続します。
- ⑤ 黒い線をバッテリーの-に接続します。
- ⑥ 黄色い線をACCに接続します。



注意

● 取付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子（マイナスターミナル）を外してください。結線中にショートすることがあり、感電や車両火災の原因になります。● ACCは必ず車両の電源ON時に常時電流が流れている箇所に接続してください。● 市販のアクセサリ電源ユニットはご利用いただけません。正常に起動/終了ができない、再起動を繰り返す、動作が安定しない等、不具合の原因になります。

■ ホーム画面



⚙️ システム設定

- CHIGEE GO：CHIGEE GOアプリとの接続のオン/オフ切り替えができます。接続することで、録画データをスマートフォンに転送が可能です。
- 画面と音量：画面の明るさ、自動調光のオン/オフ切り替えと操作音や起動音の音量を調整できます。
- ストレージ：eMMCストレージとmicroSDカードの残容量の確認やフォーマット作業ができます。
- オプション：設定をカスタマイズしたり、機能を表示したりできます。
- 言語：表示言語を設定できます。
- 日時：日付と時間を設定できます。日時の形式やタイムゾーンの設定も可能です。
- リセット：各種設定を工場出荷時の状態に戻します。実行すると、すべてのプリセットがデフォルトに変更されます。
- 更新：ファームウェアアップデートの有無の確認や、更新ファームウェアのダウンロードとアップデートを行う事ができます。
- About：デバイス名、SNコード、ファームウェアのバージョン番号、技通番号などを表示できます。

🔗 オプション

- 空気圧：オプションのタイヤ空気圧センサーの接続/低圧と高圧/の警報値の設定/表示単位の切り替えを行う事ができます。
- OBD：本製品には非対応のデバイスについての項目であるため使用しません。
- GPS：電波強度、衛星数、速度、経緯度を確認できます。
- リモコン：オプションのプロワイヤレスリモコンとのペアリング/バッテリー残量の確認などを行う事ができます。
- 性能テスト：3種類のタイム計測（0-60km/h、0-100km/h、0-400m）を行う事ができます。
- More：距離表示の単位をKMとMILEから選択できます。
- チャンネル切り替え：スマートフォンとのWiFi接続の帯域を選択し切り替えを行う事ができます。

→ 07/ チャンネル切り替え

📶 無線リンク

本画面ではスマートフォンと無線接続を行い、スマートフォンのアプリを表示させることができます。（画面表示の内容や使用できるアプリは、Apple CarPlayやAndroid Autoの仕様依存するため、スマートフォンのアプリが全て表示される訳ではありません。）



スマートフォンを無線接続する手順

- 1 スマートフォンのBluetoothとWi-Fiをオンにします。
- 2 接続するデバイスの種類を選択します。
接続デバイス選択ウィンドウをタップし、接続デバイスを選択してください。



- 3 接続設定を行います。
接続設定アイコンをタップすると接続設定画面に切り替わります。
※特に接続設定を変えない場合は5GHz/30FPSの設定で接続されます。

2.4GHzモードの特徴と注意点

- ・DFSがオフになり、接続待機時間がなくなります。
- ・遮蔽物に強いので、5GHzモードでスマートフォンをシートバッグ等にしてしまうと接続が繋がりにくくなったり切れてしまう事象が改善されます。
- ・5GHz帯で使用可能な高フレームレートモードが使用できません。
- ・機種によっては再ペアリングが必要になります。
- ・Android Autoは2.4GHz帯での接続が正式サポートされていません。

📌 ワンポイントアドバイス

再ペアリングを行う場合は、本機の接続レコード欄のペアリング設定を削除し、スマートフォン側のBluetooth接続設定も削除してから再度ペアリングを行ってください。

4 スマートフォンとペアリングを行います。

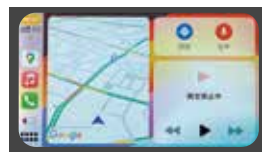


画面中央の青字のメッセージに従って、スマートフォン側でBluetoothの接続先に「CHIGEE-XXXX」を選んでペアリングを行ってください。

※接続先候補に表示される「CHIGEE-XXXX-He」は接続しないでください。

※iPhoneはペアリング中のダイアログに従い、「CarPlayを使う」を選択してください。

5 画面が切り替われば接続完了。



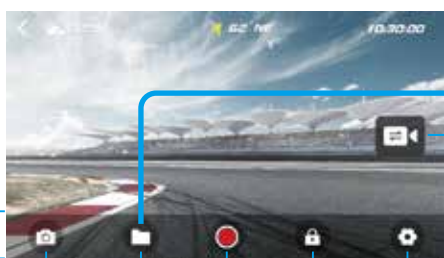
ペアリングが完了し、本機の画面表示がスマートフォンの画面とリンクした表示に切り替われば接続完了です。スマートフォンとの接続を切りたい場合はスマートフォン側でBluetoothとWi-Fiをオフにしてください。

⚙️ 接続設定

- 自動接続：一度接続したことのあるスマートフォンを次回使用する際に、自動接続できるようにします。
- 高フレームレートモード：画面リフレッシュレートを30FPS→60FPSに切り替えます。FPSが上がるほどカクつきがなく滑らかな画面描画になります。
※2.4GHz帯使用時は使用できません。
- 2.4GHzモード：データ通信に使用するWi-Fi接続帯域を、通常の5GHzから2.4GHz帯に切り替えることができます。
- 接続レコード：過去に接続したペアリング設定を選択し削除できます。

📹 ドライブレコーダー

前後カメラの映像は、電源オンで自動的に録画開始されます。カメラの映像がリアルタイム表示されるため、本画面をバックモニターとしても使用できます。

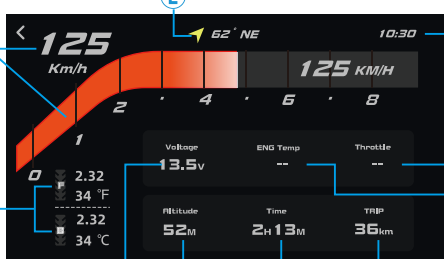


- 1 ビデオライブラリに戻る
- 2 プログレスバー
再生中のビデオを任意の位置で停止できます。
- 3 音量
音量レベルを調整する。
- 4 再生/停止
- 5 ロック
選択したビデオを上書きされないよう保護(ロック)します。
- 6 削除
選択したビデオを削除します。

- ①～⑥はドライブレコーダー画面を1回タップすると表示されます。
- 1 静止画撮影
 - 2 ビデオライブラリ
 - 3 録画開始/停止
 - 4 ファイルをロック
 - 5 ドラレコ設定
 - 6 表示カメラ切替

📊 プロメーター

速度・進行方向・バッテリー電圧などを一覧できる多機能メーター。



- 1 GPS速度計 ※1
- 2 コンパス
- 3 時計
- 4 タイヤ空気圧・温度 ※2
- 5 電圧
- 6 標高
- 7 稼働時間
- 8 走行距離
- 9 非対応 ※3
- 10 非対応 ※3

※1 GPSによる位置情報からの速度計測のため、実際の走行速度と若干の誤差があります。
※2 別売りオプション品(SRS-002)を装着すると表示されます。
※3 本機には非対応のデバイスからの表示項目であるため表示されません。

⚙️ ドラレコ設定

- 解像度：1080P/30FPSもしくは720P/30FPSを選択できます。
- 合成出力：オンにすると前面カメラと背面カメラの画像が1つのビデオファイルとして保存され、画像が大小の形で表示されます。
- 録画時間：録画時間を1分/2分/3分から選択し、設定します。
- データ：ビデオ画面に表示するデータを選択します。時間、速度、経緯度を選択できます。詳細な設定はCHIGEE GOアプリで利用可能です。
- 鏡像：バックカメラ(カメラB)を鏡像プレビュー設定するとバックミラーと同じ見え方になります。
- 衝突ロック：車両が衝突した場合、その期間のビデオはロックされ、ループ録画によって上書きされないよう設定できます。
- 駐車監視：車両が駐車状態で振動を受けると60秒間のビデオファイル録画します。
- 録音する：マイクの音量設定。

① 録画の保存について

- 録画ファイルはmicroSDカードまたは32GB(実質28GB)の内蔵eMMCストレージに保存され、SDカードの方が優先的に使用されます。
- 衝撃を検知しロックされたファイルはループ撮影の上書きがされないで、ロックされたファイルが増加していくと、ループ撮影が保存できる容量は圧迫されていきます。
- 録画容量が足りず、録画ができない場合は、ロックされた録画ファイルを削除するか、eMMCをフォーマットしてください。



eMMCのフォーマット

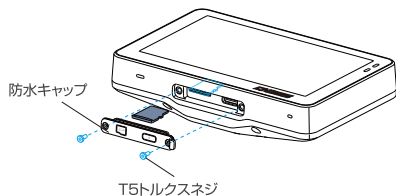
「システム設定」→「ストレージ」でEMMC欄下の「フォーマット」を選択します。

- 録画容量を増やしたい場合はmicroSDカードを使用することができます。

→ 04/ ストレージの増設

04 ストレージの増設

録画容量を増やしたい場合はmicroSDカードを使用することができます。



本機下部のmicroSDカードスロットにカードを挿入すると以後の録画はmicroSDカードに保存されます。
録画用のmicroSDカードを用意し、電源をオフにしてからカードスロットに挿入してください。

3 録画用のmicroSDカードは、転送速度がU3(UHSスピード規格クラス3)で容量が32GB・256GBのものを使用してください。

注意

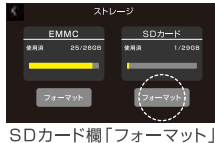
●付属品のmicroSDカードはFWアップデート用です。録画には対応していませんので、録画用のmicroSDカードは別途ご用意ください。●装着したmicroSDカードが本機で初めて使用される場合はフォーマット作業が必要です。「システム設定」→「ストレージ」でSDカードをフォーマットしてください。●microSDカードはフォーマットされるとフォーマット前のデータは失われます。

05 ファームウェアアップデート

本製品は新しい機能の追加や不具合の解消のために、随時ファームウェアのアップデートを行なっています。
最新ファームウェアの確認は必ず定期的に行ってください。

① 電源をオフにし、本製品に付属のファームウェア更新用microSDカードを本機に挿し込みます。→クイックスタートガイド「microSDカードの着脱方法」をご参照ください。

② 電源をオンにし、「システム設定」→「ストレージ」でmicroSDカードのフォーマットを行います。



フォーマット作業は装着したmicroSDカードが本機で初めて使用される場合のみ必要です。既にmicroSDカードをドラレコ機能の録画用として装着済みの場合、フォーマット作業は行わず、本機の起動後はそのまま③に進んでください。

③ 「システム設定」→「更新」でアップデートを行います。

本作業はWi-Fi環境下、もしくはスマートフォンでのテザリング機能(インターネット共有機能)使用下で行ってください。テザリング機能の使用法に関しては、各スマートフォン端末の設定を確認してください。



「アップデートの確認」



接続先を選ぶ



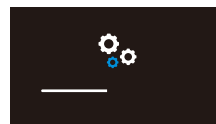
接続成功を確認



「今すぐ更新」



ファームウェアのダウンロード開始



ダウンロード終了後、再起動を待ってアップデート完了

更新後に確認できるよう、最新版のバージョン番号を控えておきます。

接続失敗が繰り返される場合はSDカードの再フォーマット、ならびに本機の再起動を行い、手順3を始めから行ってください。

④ 「システム設定」→「About」でファームウェアのバージョンを確認します。



「システム設定」→「About」

ファームウェアのバージョンが④で控えておいた最新のバージョンになっていればアップデート完了です。

注意

●本作業は必ず車両を安全な場所に停車し、エンジンを停止させた状況下で行ってください。●更新にはmicroSDカードが必要です。●付属品のmicroSDカードを本機に挿入した際、転送速度に関する警告が表示される場合がありますが、ファームウェア更新作業には問題ありません。●ドラレコ用に付属品とは別にmicroSDカードを用意している場合はそちらを使用しても問題ありません。●アップデートに失敗した場合はSDカードをフォーマットするか、SDカードを新しいものと交換してください。●microSDカードはフォーマットされるとフォーマット前のデータは失われます。予めデータのバックアップを取るか、本製品付属のmicroSDカードをご使用ください。●ファームウェアのアップデート作業はデータ通信を伴います。アップデート作業時にかかるデータ通信料はお客さまのご負担となります。

06 CHIGEE GO アプリ

スマートフォンアプリにより本製品をより便利に使うことができます。

CHIGEE GOアプリとスマートライドモニターの接続

① CHIGEE GOアプリをスマートフォンにダウンロードしてください。



アプリをダウンロード
iOS / Android

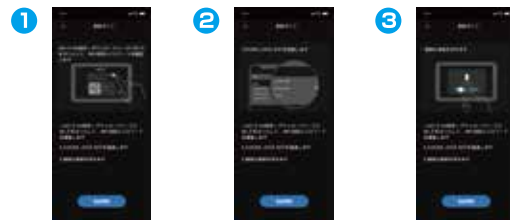
※APP StoreまたはAndroidアプリストアからのダウンロードも可能です。

② 「システム設定」→「CHIGEE GO」でアプリ接続モードに切り替えます。

画面右上のスイッチをONにしてください。



③ CHIGEE GOアプリを起動し、アプリの指示に従いXR-2に接続してください。



CHIGEE GOアプリの機能

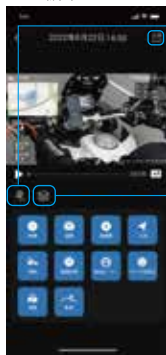
アルバム

写真と動画をローカルフォルダにダウンロードしたり、ダウンロードした動画を編集(位置情報、速度、タイヤ空気圧表示等のパラメータをオーバーレイする)することができます。



- ① ローカルアルバム
：スマートフォンに転送した写真と動画
- ② ドラレコアルバム
：本機に保存されている写真と動画
- ③ “” 複数選択
- ④ “全部” 全部:すべての写真と動画
- ⑤ “ビデオ” 動画:録画ファイルを確認する
- ⑥ “写真” 写真:撮影した写真を確認する

ドラレコアルバム上で選択し、ダウンロードされたビデオファイルは、ローカルアルバムに保存されます。ローカルアルバム上のビデオファイルはリアルタイムの走行履歴の確認と録画データの編集をすることができます。



リアルタイム行動履歴
撮影時の位置情報を確認できます。

エクスポート : 編集した録画データをローカルアルバムに書き出します。

録画データ編集 : 動画上に載せたい情報を選択します。



カメラ

スマートフォンから本機のカメラを操作し、静止画の撮影を行うことができます。
また、スマートフォン上で本機のドラレコ設定を変更することができます。

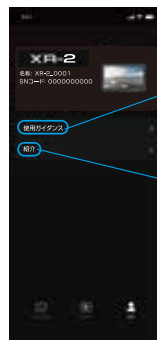


- ① リンク解除
- ② カメラ切替
- ③ 解像度選択
- ④ アルバム
- ⑤ 撮影
- ⑥ ドラレコ設定



機種情報

説明書等の使用ガイダンスを確認する事ができます。



使用ガイダンス

本機の取扱説明やカメラ、オプション機器の説明などを確認できます。

紹介

お使いのスマートフォン上のCHIGEE GOアプリのバージョンを確認できます。

07/ チャンネル切り替え

スマートフォンとのWi-Fi接続帯域を状況に応じて切り替える※ことでより快適に使用できます。
※一部チャンネル切り替え時に再起動を行います。電波の適正使用にご理解とご協力をお願い申し上げます。

各チャンネルの特徴と注意点

■ W56(DFS)

- DFS機能により、レーダー検知時も途切れることなく通信が可能。
- 2.4GHz帯に比べ通信速度が速い。
- 屋内外で使用可能。
- △ DFS機能の電波干渉チェックのため接続時に約1分の待機時間が必要。

オートバイでの使用
屋外での使用に必須

■ W52

- DFSを使用しないので接続時に待機時間が不要。
 - 2.4GHz帯に比べ通信速度が速い。
 - △ 屋内のみ使用可能。オートバイでの使用は不可。
- W52は屋内のみ使用可能な帯域です。オートバイでの走行を含む屋外でのご使用はご遠慮ください。

屋内でのファームウェアアップデート
自動車内での使用に利用します

■ 2.4GHz

- 遮蔽物に強くスマートフォンと接続しやすい。
 - DFSを使用しない為、接続時に待機時間が不要。
 - 屋内外で使用可能。
 - △ 5GHz帯に比べ通信速度が遅い。
 - × Android Autoは2.4GHz帯を正式サポートしていない。
- 5GHz帯(W56(DFS))での接続がしにくい場合に適しています

■ DFSについて

●DFSとは気象レーダーや航空機レーダー等のレーダー波との干渉を防ぐ機能です。データ通信前に約1分間の電波干渉チェックが行われます。●使用中にレーダー波を検知した場合はDFS機能によりデータ通信が停止され、通信チャンネルの変更を自動で行います。その際再度1分間の帯域確認が発生いたします。●W56使用時は画面右上に使用チャンネルと一緒にDFSマーク **(DFS)** が表示されます。●オートバイ乗車時はDFSマークが表示されているかの確認をお奨めします。

08/ 製品仕様

品番 / 品名		SRS-019 スマートライドモニター XR-2		ストレージ	内蔵ストレージ		外部ストレージ		
本体寸法 / 重量		116.7×73.8×28.3mm / 262g			32GB(eMMC)		microSDカードスロット (最大256GB / UHSスピードクラス3以上)		
ケーブル長		本体 Cam F (フロントカメラ) Cam B (バックカメラ) 電源 各58cm + Cam F (フロントカメラ) Cam B (バックカメラ) 電源(+/-/ACC) 104cm 255cm 各203cm ※ケーブル付根から接続端子先端までの計測値				動作温度		-20℃ ~ 60℃	
						Bluetooth規格		5.0	
						Wi-Fi規格		IEEE 802.11n/ac (※Apple CarPlay、Android Autoとの通信は 5GHz帯(屋外) : W56(DFS機能搭載) 5GHz帯(屋内) : W52 2.4GHz(屋内・屋外)を使用))	
ディスプレイ		サイズ	4.3インチ		前後カメラ	視野角	D136.6°(H115.6°, V61.6°)		
		液晶仕様	IPSタッチパネル / 輝度 : 1200Nit			F値	1.8		
		解像度	WVGA(800x480p)			解像度 / フレームレート	FHD(1920×1080p) / 27.5fps		
防水仕様		本体 : IP68 / 前後カメラ : IP68				明暗補正	HDR		
動作電圧/電流		DC12-18V / 0.6A				ループ録画	1分/2分/3分 サイクル		
電源周波数		50Hz/60Hz				緊急自動録画	駐車監視時消費電力 待機中 : 約100μA(0.0012W) 録画中 : 約0.6A(7.2W) ※DC12Vで使用した場合		
対応車両電源		12V~18V							
搭載センサー		GPSセンサー / ジャイロセンサー / Gセンサー				録画再生方法			
HUD		速度 / 時間 / 緯度・経度				記録フォーマット			
衛星測位システム		GPS/BeiDou/GLONASS/Galileo/QZSS				システム要件			
						Apple CarPlay : iPhone 6s以上 / iOS 13以上 Android Auto : Android 11以上			

※日本の電波法に基づいた仕様となりますので、海外への持ち込みはできません。※ファームウェアの更新により各数値が変更される場合がございますので、予めご了承ください。

09/ アフターサービスと注意

保証について

まずはお問い合わせください
サービス直通ダイヤル: 04-7150-2457

- 一部例外を除き、ご購入日から12カ月以内に製品の不具合が認められた場合、無償にて修理いたします。(修理が困難な場合には同品との交換を検討いたします。)
- 往復送料は弊社にて負担いたします。(着払いにて弊社宛にお送りください)
- 保証適用のためにご購入の履歴がわかる書類(注文確定メールや納品書、又はレシート等のコピー)を確認させていただきます。
- ご購入の履歴がわかる書類のご提示がない場合や、正規販売店以外でご購入された場合は保証対象外となります。
- お住まいの地域によっては制約事項および例外事項が適用されることがありますので、ご了承ください。
- 保証期間中でも、保証対象外の場合は有償修理になります。

[保証対象外となる場合]

- 使用上の誤り、分解、または改造や不当な修理による故障および損傷
- 落下、転倒事故、輸送等による故障および損傷
- 火災、地震等の天変地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷
- オートバイ以外に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷
- 購入証明のご用意が出来ない場合、またお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の確認ができない場合や改ざん等の不正が認められる場合
- その他、製品の誤用や不当な扱いによる損傷、表面的な損傷、機会損失等の費用などの付随的または必然的な損害

△ 取り付けの注意

●法令を守りお取り付けください。●本製品は汎用品です。取り付け出来ない車両や電装機器があります。予め弊社では取り付けれる電装機器の保証、説明は致しかねますので、ご了承ください。●重大な事故につながる可能性がありますので、走行前に配線の取り回し、各部品に固定に異常がないことを確認してください。また定期的に同様の点検を行ってください。●取り付け作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(車両が転倒し怪我する恐れがあります。)●配線は、極性を確認後にプラス→マイナスの順で接続し、マイナス→プラスの順に取り外してください。●取り付け後は定期的にガタツキや緩みが無い点検を行ってください。●走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ点検を行ってください。●取り付け・取り外し作業前には必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ショートによる感電や車両火災の原因になります。●感電や車両火災の原因になりますので、取り付け中は第三者が触れない場所で作業してください。●本体や配線コードなどが車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売り)等でその部分を保護する事をお勧めします。●配線コードやカメラなどがエンジン・マフラー・排気煙等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。

△ 使用上の注意

●法定速度以上での使用はお控えください。本体取付ステーやカメラが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●本製品をメーターやバックミラーの代わりとして使用しないでください。重大な事故及び破損の原因になります。●走行中は操作しないでください。必ず停車させて周囲の安全を確認してから操作してください。●本体やカメラを分解しないでください。●林道や砂利道などの荒れた路面では振動でステーやカメラが緩む恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。●仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

タナックス株式会社
千葉県流山市おおたかの森西 3-5-7 〒270-0128
TEL : 04-7150-2450
TANAX CORPORATION
3-5-7, OTAKANOMORINISHI, NAGAREYAMA-SHI, CHIBA
270-0128 JAPAN TEL +81-4-7150-2450

TANAX WEB サイトへ
簡単アクセス!
<https://www.tanax.co.jp>

TY1726042